



千葉県議会議員 佐倉市・酒々井町選出

入江あき子

2025 年
県議会報告
春号

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

いのちと暮らし、守り抜く

—— 当事者の声を政策につなげます ——

同副参事 臨床研修中（医療免許取得後の2年間は診療料が特定されない）の医師を除き、188名に確認したところ、内科が52名（28%）、外科が21名（11%）、整形

入江 どの診療科目に多く従事しているのか。産婦人科や小児科を選択している人数や割合はどうか。

医療整備課副参事 平成21年度の制度創設以来、691名に貸し付け、247人が県内で勤務している。

入江 医師修学資金貸付事業について、これまでの貸付者数や県内医療機関で勤務中の医師数はどうか。

医師修学資金貸付 7億5540万円

医師を増やす



外科が18名（10%）。産婦人科は13名（7%）、小児科は10名（5%）だった。

入江 新年度から※小児科医志望加算枠を創設することだが、何名への貸付けを想定しているのか。また、240万円の積算根拠はどのようなものか。

同副参事 小児科コース修学資金については、4名分を計上した。全国で小児科の専門研修を受けているのは6%だったため、本県の修学資金制度の1学年当たりの募集定員数66名の6%に相当する4名分の所要額240万円とした。

※小児科医志望加算枠…国公立大学は月額15万円、私立大学は月額20万円に対し、将来的に小児科医を希望する4年次以上の学生に月額5万円が加算される。

2025 年度 2 月議会
一般会計当初予算
2兆 1042 億円

2月定例県議会（1/23～2/25）
熊谷県政再始動
超高齢化時代に対応した
医療・福祉の充実



2/17 健康福祉常任委員会

熊谷俊人知事の再選に伴い、4/18 臨時議会が開かれました。私たち立憲民主党県議団は、知事の「県政ビジョン」で示された政策に対し、議会サイドから建設的な議論を進めてまいります。

先の2月議会健康福祉常任委員会では、地域医療を担う医師の確保や障がいのある方の生活支援、高額療養費の問題など、新年度の医療・福祉予算を中心に質疑しました。答弁要旨はこちらからご覧いただけます→



安心の医療を支える 相談体制の充実



4/8「がん患者の経済的負担に関する実態調査」を行った（社）患者会計サポート協会と高額療養費の見直しについて、国会での要請活動

入江 県立病院において、高額療養費制度は、どれだけ利用されているのか。

病院局 がんセンターにおいては、9割以上の患者が、高額療養費制度を利用している。

入江 がんセンターでは、経済的負担に不安や悩みを持つ患者・家族への支援体制は、どのようになっているのか。

病院局 がん相談支援センターでは、専従の看護師や社会福祉士が、がんに関する様々な相談や、高額療養費制度の利用に関するサポートを行っている。また、月に2回、社会保険労務士が経済的負担に対する相談会を開いている。

入江 がんセンターでは、医療費、生活費、社会保険制度に関わる相談が最も多い。相談件数の割には、専門家の配置が弱いと考える。拡充すべきだがどうか。

病院局 近年、経済的な相談が増えている。経済分野の専門家の活用など、更なる相談体制の拡充について、病院現場等の意見を伺っていく。

入江 昨今、働き盛りの40代、50代の患者が非常に増えている。経済的な負担や治療を継続するため

の相談支援が求められる。外部のファイナンシャルプランナーなどの力も必要だ。今後も経済的な不安や悩みは増加してくるものと思われる。がんセンターが選ばれる病院になるためにも、治療だけではなく、患者の生活全般を支えるための具体的な検討を進めてほしい。

医療的ケアが必要な方を支える



医療型短期入所事業所開設支援 2100万円

入江 事業開始からの実績はどうか。

障害福祉事業課長 昨年度の事業開始後、新たに4事業所を指定した。

入江 県内では事業所の不足や地域偏在が指摘されている。新年度

はどう開設支援に取り組んでいくのか。

同課長 令和7年1/1現在、県内の※医療型短期入所事業所は17あり、千葉・市原地域が6、安房地域が3、葛南、東葛、君津地域がそれぞれ2、印旛地域、海浜地域が各1事業所となっている。来年度は、事業の拡充を図り、医療的ケア児者の支援体制の充実に努めていく。

入江 印旛地域では1事業者だけで、地元佐倉にはない。開設を望む声が多くある。拡充に向けて、しっかりと取り組んでほしい。

※医療型短期入所事業所…医療的ケアが必要な方や重症心身障害のある方に対し、1日から数週間、入浴・排せつ・食事のほか、必要なサービスを提供する。

活動報告

まずは現場へ！



1/22 我孫子テクノスクール



1/22 市川クリーンセンター



1/28 佐倉バイオ炭プロジェクト



2/7 ユーカリが丘街づくり企業視察



1/26 手をつなぐ育成会



2/1 佐倉市立美術館



3/21 川村記念美術館



3/19 船橋北高校居場所力フェ



4/3 ユーカリが丘国際福祉専門学校

ねばり強さと行動力で政策実現！

令和7年度の主な新規事業 会派の予算制度要望により 実現しました



被災者支援システム運用事業 8,100 万円

住家被害認定調査や、被災証明書発行事務の迅速化を図るため、被災者台帳をデータ化した被災者支援システムの市町村での導入を支援。

防災情報バリアフリー化事業 950 万円

県民の防災意識を高めるため、防災啓発サイト「じぶん防災」のリーフレット版の作成や視覚障害者向けハザードマップを新たに導入。

災害時学校支援チーム(D-EST)体制整備事業 126 万円

県内外の大規模災害等が発生した際に「災害時学校支援チーム」を派遣し、被災した学校の学びの継続や早期再開を支援する。

地域防災緊急整備事業 1億 2,000 万円

発災時の避難所等における生活環境を改善するため、トイレカーやパーティション等を確保。

犯罪情勢分析システム整備事業 600 万円

県内の犯罪発生状況等をインターネット上で公開するためのシステムについて、新たな機能を導入し、情報を充実させる。

農業事務所へのドローンの配備 286 万円

各農業事務所へのドローン配備により、災害対応力を強化し、日常的な農業水利施設等の確認を効率的に行う。

農作物の高温対策に係る実証事業 500 万円

温暖化の進行による収量の減少や品質の低下を防ぐため、水稻の高温対策に係る技術について、県内の農家と連携して検証を行うほか、露地野菜の安定生産技術の確立に向けた基礎研究を進める。

路線バス運転手確保対策事業 3,500 万円

運転手の確保に向けて交通事業者が行う労働環境の整備や UIJ ターン人材の確保に向けた取組への支援、バス事業者と連携した合同企業説明会等を開催する。

小児診療対応医師確保総合対策事業 1,670 万円

県内の深刻な小児科医不足の現状を踏まえ、小児科医の養成・確保について、総合的な対策を実施。

保健所の業務改善に向けた事務処理センター設置・運営事業 3 億円

保健所の健康危機管理や地域保健対策の拠点としての機能を強化するため、各保健所で実施していた事務を集約して処理する事務処理センターを設置。

介護支援専門員研修受講料補助 1,300 万円

ケアマネジャーの資格更新の際に必要な研修受講料の一部を助成。

県教育庁統一ダイヤルの設置 3,700 万円

県民から各県立学校等への外線電話にワンストップで対応するコールセンターを設置し、教職員が業務に専念できる環境を整備。

県立学校会計クラウドの導入 債務負担行為 9,800 万円

保護者の利便性向上や教職員の負担軽減のため、県立学校特有の学校徴収金等の会計について、口座振替や支払いなどの事務処理を一連のシステムで行う学校会計クラウドを導入し、キャッシュレス化・ペーパーレス化を図る(導入時期 R9年度)

県立学校体育館空調設備整備事業 3,040 万円

避難所に指定されている県立中学校及び特別支援学校の体育館に順次空調を整備。(中学校 2 校、特別支援学校 5 校)

国立歴史民俗博物館との連携事業 229 万円

国立歴史民俗博物館と共同研究等を行い、共通のパンフレット発行などの広報活動を実施。

水道管の耐震化 能登半島地震を教訓に県が後押し

水道管路耐震化促進事業補助金 1億 7,300 万円

県内の水道管の耐震化は、地域で格差が生じています。県は、管路の耐震化を促進するため、新年度から県内水道事業体を財政面で支援します。国の補助制度に県が独自の上乗せをすることで、令和11年度までの5年間で集中的に基幹水道管や病院・避難所などの重要施設に接続する水道管の耐震化を後押しします。

県内水道事業体の 水道施設の耐震化率 (令和4年度末)

	基幹管路の耐震化率 (%)	浄水施設の耐震化率 (%)	配水池の耐震化率 (%)
千葉県	61.7	23.2	56.5
千葉市	65.5	76.1	95.9
佐倉市	65.0	0.0	86.3
酒々井町	0.9	0.0	100.0
四街道市	60.1	100.0	87.6
富里市	84.1	0.0	71.9
成田市	84.9	29.3	54.6
八街市	2.2	0.0	0.0

総合企画部水政課 出典：令和4年度水道統計

6月県議会の予定

開会 5/28(水)~
閉会 6/25(水)

代表・一般質問
6/3(火)~6/6(金)
6/9(月)~6/11(水)

予算委員会
6/13(金)・16(月)

常任委員会
6/17(火)~20(金)



いよいよ始動！
昨年6月の会派代表者会議において、立憲民主党から「議会改革を議論する場」の設置を提案。その後、全議員へのアンケートの調査結果を踏まえ、優先すべき改革項目について協議してきました。
4/10代表者会議では、2つのワーキンググループ（議会広報／デジタル化）を立ち上げることで合意。常任委員会のネット中継やSNSの活用、押しボタン式の電子採決の導入やオンライン委員会の開催等々について、議論する予定です。
任期中の前進を目指し、令和8年9月議会までに検討が進められます。実に16年ぶりとなる議会改革の動きに、ご注目ください。

入江あき子事務所

〒285-0846 佐倉市上志津 1621-8 (2 階)
電話 / 043-420-8758 fax / 043-420-8759
mail / akiko.machi3@gmail.com

いのちと暮らし、守り抜く

詳しくはこちらをご覧ください

入江あき子サイト <https://irieakiko.jp/>



プロフィール

1965年
宮城県仙台市生まれ
1988年
国際基督教大学(ICU)
教養学部社会科学科卒業
2003年4月~
佐倉市議会議員
2011年4月~
千葉県議会議員

現在

千葉県議会議員 4 期目
健康福祉常任委員会委員
会派「立憲民主党千葉県議会議員会」会長
立憲民主党千葉県連副代表
連合千葉議員団会議所属
千葉県地方自治研究センター所属
千葉県議会地震・津波対策議員連盟所属
千葉県議会資源エネルギー問題懇話会所属
千葉県議会不登校児童生徒の教育機会確保・支援推進議員連盟
全国災害ボランティア議員連盟所属